

学校だより



市川市立平田小学校

～共に学ぶ 共に育つ 共に感動する そして共に幸せ～

いなほ
稲穂

学校教育目標

夢をもち、たくましく生きる
子どもの育成

No.27

令和5年3月14日

校長 蜂須賀 久幸

<https://ichikawa-school.ed.jp/hirata-sho>**何気ない一言や仕草が、どんな薬より気分をよくすることがある**

以前 PILOT のキャッチコピーにあった、『手紙に書かれた一言が、お医者さんより効くことがある』を拝借して表題を書いてみました。CMに使用されるキャッチコピーは様々ですが、一瞬で心をつかんだり記憶としてとどまったりして、どれも秀作ばかりです。ここに画像や映像が加わると、さらに印象が深まります。これを考えた人に感心してしまいます。

さて、毎朝安全指導をしていると、子供たちから先に声がかかることが多くなりました。素敵な会釈を添えてくれる子もいます。ある子は「いつもありがとうございます」と言ってくれます。また、当番の保護者の方に声をかけていただく機会もあります。他愛ない話をしたり、「学校だよりが楽しみです」と言っていたり…。何でもないこと、何気ない言葉をとてもうれしく思います。これは当番の保護者の方やパトロールをしてくださる地域の方も同じだと思います。

「以心伝心」とか「言葉にしなくても分かり合える」とか言いますが、そうでしょうか？やはり言葉にしたほうがよいこと、言葉にしなくては伝わらないことのほうが多いように思えます。「言葉」を「文字」に置き換えることもできます。学校では、集団や小グループでの学び合いを大事にしてきました。違う考えを聞き、自分の中でしっかり咀嚼することで学びが深まると考えるからです。だから子供たちには、相手に自分の思いを伝えられる人、そのための効果的な手段を選択できる人、相手をリスペクトできる人に成長して欲しいと願います。逆に、思っている口にしただけ文字にしたりしてはいけないこともありますから、使い分けできることも重要です。

大人でも子供でも、ちょっとしたすれ違いやトラブルの原因になるのがコミュニケーション不足です。いつも言うことですが、例えば家族に何かをしてもらったことに対して「ありがとう」を言えているでしょうか？食事が終わって「ごちそうさま」と感謝の気持ちを伝えているでしょうか？そういった一言が与える効果が大きいからこそ、近しい家族や友達、地域でも大事にしたいものです。年度替わりのこの時期、普段伝えきれていない気持ちを何らかの方法で伝えてください。

古いキャッチコピーをもう一つ！『Impossible? I'm possible.』（東芝）。これはTVCMで、山下智久さんがクエスチョンマークの点を除いた部分だけを左指でなぞり取って、「I」と「m」の間にこすりつけると、あら不思議！「Impossible?」が「I'm possible.」に早変わりというもの。「無理そうかなあ？」という問いに対して、「大丈夫！」と胸を張って答える姿が目には浮かびます。

今週末に卒業する6年生にも、5年生以下の在校生にも、「I'm possible.」と言える自信がついた1年間であったとしたらうれしく思います。進級・進学が目の前この時期、「Chance」（好機・チャンス）であり、「c」を「g」に変えて「Change」（変化・移り変わり）をねらい、さらに「lle」を加えて「Challenge」（挑戦・チャレンジ）してください。

年度末は、大人にとっても子供にとっても1年間の締めくくりであるとともに、次年度につなぐ大切な時期です。挑戦することをやめず、新たなスタートに向けた準備をできることから丁寧に…。

マスクの着用について



昨日十三日以降のマスクについて、政府は、「個人の判断に委ねる」としています。また、千葉県及び市川市からの通知では、「学校などの施設では、換気などによる基本的な感染対策により感染リスクを低減できるのであれば、マスクの着用は個人の判断とすることを基本として、感染対策を実施する」とされ、四月一日実施となります。

さて現在、市内の学校ではインフルエンザによる欠席者が決して少なくありません。また、黙食の見直しを児童にアンケートした際も4分の1以上が黙食継続を希望していました。生活全般での不安も根強く残っています。そうした不安解消に向けた指導や不安に寄り添うための猶予期間は必要です。マスクする者としらない者が混在する中で、悲しい思いをする児童が出るのではないように見守っていききたいと考えます。

よって、修了式までは従来の指針どおりとします。教室や体育館などの閉じられたスペースに児童が集まる場面ではマスク着用を継続し、屋外活動や登下校時、あるいは運動負荷がある体育などにおいてはマスクを外すことを促します。

ほぼ三年にわたるマスク生活。マスクを外して互いの表情が見えれば、友達との学びを深められますし、気持ちを汲み取りやすくなつて誤解やトラブルが少なくなることが期待できます。今しばらくは近距离での会話やスキンシップといった行動を我慢したり、必要に応じてマスクを着脱したりする行動ができるようにしていきます。ご理解のほどお願いします。

なお、校内でマスクを着用していなくても、感染リスクを低減できない場合を除いて無理に着用をすすめることはしませんので、併せてご理解とご協力をお願いします。

無償給与される教科書、実は…



4月や9月に配られた教科書が、扱い方がひどくてボロボロなんていうことはないでしょうか。でも、あとひと月もしないうちに、また新しい教科書が配られて気分も一新。勉強をがんばろうと意気込む人も多いことでしょう。ところで、自分で教科書購入をする高校生とは違い、義務教育課程で使用する教科書は一体いくらののでしょうか。ほとんど意識することがないと思いますので、これを機会に調べてみることにしました。

教科書無償化については、憲法第26条に掲げる義務教育無償の精神をより広く実現するものとして、昭和38年から実施されています。6年生の社会科学習で制度や仕組みについて学ぶ場面もありますが、いたずら書きや紛失、乱暴な扱いなどを目にするのは少なくありません。

教科書の後ろを見ると、「文部科学大臣が認可し官報で告示した定価」という記載しか見られません。ここでいう「定価」は学年によって異なりますが、例えば小学校国語で約630～800円、中学校国語では約800円になります。理科の場合は、小・中それぞれ約610～930円及び710円と、こちらも文庫本並みの値段と言えます。複数教科ありますから、単純計算でも小学1年生で3500円くらい、5年生になると4000円程度になり、中学1年生に至っては8000円に迫る金額になりますから驚きです。(参照：ベネッセ教育情報サイト)

授業で使いやすくわかりやすい教科書を目指して編集される教科書ですし、国民の負担によって成り立っていることを、子供たちも含めて今一度理解しておきたいと思います。同じように、3年生で配付される「わたしたちの市川」にも、市内の編集委員の先生方の頑張りが見えてきませんか。こちらには価格設定がありませんが、学び方も学んでほしいという願いが込められています。

離任式について



3月24日(金)9時10分頃～ 校庭にて(雨天時は体育館)

修了式に引き続き行います。年度末をもって平田小を離れる教職員名は、前日午後16:00)を24日に設けます。保護者の皆様は、こちらをご利用ください。